医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。

使用上の注意改訂のお知らせ

2014年9月

東和薬品株式会社

スルホニルウレア系経口血糖降下剤

日本薬局方
グリメピリド錠

グリメピリド錠0.5mg「トーワ」
グリメピリド錠1mg「トーワ」
グリメピリド錠3mg「トーワ」

スルホニルウレア系経口血糖降下剤

グリメピリドOD錠0.5mg「トーワ」
グリメピリドOD錠1mg「トーワ」
グリメピリドOD錠3mg「トーワ」

《グリメピリド口腔内崩壊錠》

このたび、標記製品の「使用上の注意」を改訂致しましたのでお知らせ申し上げます。
なお、改訂添付文書を封入した製品がお手元に届くまでには日数を要する場合がございますので、
今後のご使用に際しましては、下記内容にご留意くださいますようお願い申し上げます。

1. 改訂内容

改訂後（下線部改訂）	改訂前
3. 相互作用 本剤は、主に肝代謝酵素CYP2C9により代謝される。 併用注意（併用に注意すること）	3. 相互作用 本剤は、主に肝代謝酵素CYP2C9により代謝される。 併用注意（併用に注意すること）

改訂後（下線部改訂）

1)血糖降下作用を増強する薬剤

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
（省略：現行のとおり）		
GLP-1受容体作動薬 リラグルチド等	臨床症状：血糖降下作用の増強による低血糖症状(脱力感、高度の空腹感、発汗、動悸、振戦、頭痛、知覚異常、不安、興奮、神経過敏、集中力低下、精神障害、意識障害、痙攣等)が起こることがある。 措置方法：併用する場合には、血糖値その他患者の状態を十分観察し、必要に応じて本剤又は併用薬剤の投与量を調節するなど慎重に投与すること。特にβ-遮断剤と併用する場合にはプロプラノロール等の非選択性薬剤は避けることが望ましい。低血糖症状が認められた場合には通常はショ糖を投与し、**α-グルコシダーゼ阻害剤(アカルボース、ボグリボース等)との併用により低血糖症状が認められた場合にはブドウ糖を投与すること。**	インスリン分泌促進、グルカゴン分泌抑制
SGLT2阻害剤 イプラグリフロジン　L-プロリン トホグリフロジン水和物 等		尿中へのブドウ糖排泄促進
（省略：現行のとおり）		

2)血糖降下作用を減弱する薬剤

（省略：現行のとおり）

改訂前

1)血糖降下作用を増強する薬剤

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
（省略）		
GLP-1受容体作動薬 リラグルチド等	臨床症状：血糖降下作用の増強による低血糖症状(脱力感、高度の空腹感、発汗、動悸、振戦、頭痛、知覚異常、不安、興奮、神経過敏、集中力低下、精神障害、意識障害、痙攣等)が起こることがある。 措置方法：併用する場合には、血糖値その他患者の状態を十分観察し、必要に応じて本剤又は併用薬剤の投与量を調節するなど慎重に投与すること。特にβ-遮断剤と併用する場合にはプロプラノロール等の非選択性薬剤は避けることが望ましい。低血糖症状が認められた場合には通常はショ糖を投与し、**α-グルコシダーゼ阻害剤(アカルボース、ボグリボース等)との併用により低血糖症状が認められた場合にはブドウ糖を投与すること。**	インスリン分泌促進、グルカゴン分泌抑制
（省略）		

2)血糖降下作用を減弱する薬剤

（省略）

2. 改訂理由

「相互作用　併用注意」の項（自主改訂）

国内において、SGLT2 阻害剤が新たに販売され、本剤との併用により血糖降下作用を増強させる可能性があるため、追記致しました。

今回の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会の医薬品安全対策情報（DSU）No.233（2014年10月）に掲載される予定です。
また、改訂後の添付文書全文につきましては、独立行政法人　医薬品医療機器総合機構「医薬品医療機器情報提供ホームページ」（http://www.info.pmda.go.jp）並びに弊社ホームページの「医療関係者の皆様へ」のページ（http://www.towayakuhin.co.jp/forstaff）に掲載致します。

製造販売元
東和薬品株式会社
大阪府門真市新橋町2番11号

【製品情報お問い合わせ先】
学術部DIセンター
0120-108-932